

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社

コード番号 9753 URL <http://www.ikic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安藤 文男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 森永 康義

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,383	△14.1	△96	—	△72	—	△40	—
21年3月期第2四半期	8,592	—	△94	—	△63	—	△124	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△3.34	—
21年3月期第2四半期	△10.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	7,670	3,756	48.9	307.29
21年3月期	8,564	3,860	45.1	316.02

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,752百万円 21年3月期 3,858百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,984	△12.7	104	61.3	131	15.0	75	—	6.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 13,034,660株 21年3月期 13,034,660株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 824,555株 21年3月期 823,955株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 12,210,568株 21年3月期第2四半期 12,216,451株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績の予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済が昨年来の危機的状況から、主要国ごとのばらつきを抱えつつ早期脱却に向けた歩みを進める中で、回復のテンポが相対的に立ち遅れているものとみられます。製造業の在庫減少など一部経済指標や景況感の先行き見通しには改善傾向が出ているものの、円高に伴う輸出関連産業の停滞や個人消費の低迷などが足下の景況感を押し下げており、これまで弱含みで推移してきた民間設備投資は、なおも底打ちを模索する状況を続けてまいりました。

低迷傾向は、当情報サービス産業の市場において、一段と顕著であり、ユーザー企業のIT投資抑制の姿勢に大きな変化は起こらず、投資内容も、既存システムの更新投資となる案件が目立ちました。このため、大手メーカー系情報サービス事業者や、大手ベンダーの中には、自社の稼働率水準を維持するため、これまでは協力企業等に業務委託してきたシステム開発の一部工程を自社で実施するといったいわゆる内製化の動きも目立つようになりました。

こうした状況下で、当社グループの主要な市場分野の動向は、銀行など金融系のユーザー企業において一部に新規の更新需要が発生しながらも総じて低迷状況が続いているほか、携帯電話キャリアなど通信業もユーザーによってばらつきはあるものの全体としては引き合いが減少しました。また、製造業、サービス産業、社会・公共など各分野のユーザーからも引き続き案件を受注いたしました。全般に引き合いの規模は前年同期に比べ縮小傾向となりました。

これに対し当社グループは、ユーザーの信頼確保を第一義に「しっかりとしたモノづくりと高品質のサービス提供」を掲げ、システムの受注から納品までのプロセス品質管理・リスク管理に徹底を期する一方、厳しい市場環境に対応した採算重視の受注態勢を敷いてまいりました。また、当期間においては本年10月1日付の当社による連結子会社、株式会社アイエックスときわテクノロジーの吸収合併を控え、実質的な一体事業運営体制で臨み、事業の効率化、品質の向上を図りました。さらに、市場全般を通じて新たな需要開拓に注力するとともに、かねて育成を進めてきた組込み系システム開発やシステム検証サービスなど新規事業分野の受注拡大に力を入れ、既存事業分野の収益低減を補うべく努めてまいりました。

しかし、証券業や情報通信業などの基幹ユーザーを中心に、案件発注の減少が大きく、当第2四半期連結累計期間の売り上げは前年同期実績を大幅に下回る結果となりました。これに対し原価、一般管理費の両面でコスト低減に努めましたが、当期間の業績は、売上高が7,383百万円で前年同期比14.1%減となり、損益面では営業損失96百万円（前年同期は94百万円の損失）、経常損失72百万円（同63百万円の損失）、さらに四半期純損失40百万円（同124百万円の損失）を計上いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ893百万円減少し7,670百万円となりました。これは主に資産の部では「現金及び預金」の減少559百万円、「受取手形及び売掛金」の減少586百万円、「仕掛品」の増加180百万円であり、負債の部では「支払手形及び買掛金」の減少129百万円、有利子負債（「短期借入金」「1年内返済予定の長期借入金」「1年内償還予定の社債」「長期借入金」）の減少478百万円、「未払費用」の減少871百万円、「賞与引当金」の増加627百万円であります。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ104百万円減少し3,756百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の減少101百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.1%から48.9%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ559百万円（28.2%）減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,420百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は9百万円（前年同期は得られた資金168百万円）となりました。

これは主に収入では売上債権の減少586百万円、支出ではたな卸資産の増加180百万円、仕入債務の減少129百万円、その他の負債の減少256百万円を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10百万円（対前年同期比82.6%減）となりました。

これは主に投資活動その他の収入20百万円と固定資産の取得30百万円を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は539百万円（対前年同期比40.3%増）となりました。

これは短期借入金の純減額300百万円、長期借入金の返済148百万円、社債の償還30百万円及び配当金の支払60

百万円の支出によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、輸出水準を左右する為替の推移や個人消費及び建設業など内需型産業の需要動向によって、景気回復のテンポも左右されるものと見込まれ、企業の設備投資もこれに従って推移するとみられます。また、民主党新政権の政策しだいではそうした動向に影響を及ぼすことも予想され、当情報サービス産業の市場におきましても顧客企業はこうした動向を注意深く見極めつつ発注を行うものと考えられます。

当社グループを取り巻く市場環境は、基幹とする金融や通信などの市場分野を含め、顧客企業の厳しい対応が持続すると見込まれ、当社グループといたしましては、引き続き採算重視の慎重な受注姿勢で臨みつつ、既存ユーザーのニーズの深耕や新たなユーザー、市場分野開拓にも注力してまいります。また、その一方で、長年培ってまいりました業務ノウハウとユーザー企業からの信頼を基礎に、経営トップから現場技術者までの多段的営業活動により新規案件の受注獲得に注力するとともに、株式会社アイエックスときわテクノロジーを当社に吸収合併した新体制により情報連携を強化し営業を含めた効率的な事業運営を推進してまいります。

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績及び、現状の事業状況、事業環境を勘案して本年10月28日に公表した「業績予想の修正」に記載の数値に、現時点において変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

四半期会計期間に係る法人税等については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・ 会計処理基準に関する事項の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他のプロジェクトについては工事完成基準を適用しております。

これにより、売上高は59,960千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ9,541千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,248	2,079,343
受取手形及び売掛金	2,123,440	2,709,881
商品及び製品	98	—
仕掛品	404,700	224,261
繰延税金資産	383,728	334,856
その他	256,186	200,565
貸倒引当金	△1,939	△2,739
流動資産合計	4,686,464	5,546,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	165,068	170,281
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	66,284	74,891
土地	132,932	132,932
有形固定資産合計	364,285	378,105
無形固定資産		
ソフトウェア	151,045	123,896
ソフトウェア仮勘定	5,740	33,786
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	165,476	166,372
投資その他の資産		
投資有価証券	636,301	635,824
長期貸付金	2,800	3,700
賃貸不動産(純額)	431,971	432,345
繰延税金資産	1,107,663	1,104,302
その他	279,301	301,839
貸倒引当金	△3,700	△4,600
投資その他の資産合計	2,454,337	2,473,412
固定資産合計	2,984,098	3,017,891
資産合計	7,670,563	8,564,061

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	437,417	566,922
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	100,400	162,400
1年内償還予定の社債	—	30,000
未払法人税等	26,128	—
未払費用	20,166	891,915
賞与引当金	627,856	—
受注損失引当金	10,439	—
関係会社事業損失引当金	—	21,600
その他	357,943	367,509
流動負債合計	1,580,352	2,340,347
固定負債		
長期借入金	66,400	153,100
退職給付引当金	2,198,855	2,123,749
負ののれん	24,925	30,433
その他	43,880	55,918
固定負債合計	2,334,060	2,363,201
負債合計	3,914,412	4,703,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,908,212	1,908,212
利益剰余金	885,759	987,623
自己株式	△267,135	△267,042
株主資本合計	3,707,734	3,809,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,293	49,191
評価・換算差額等合計	44,293	49,191
少数株主持分	4,123	1,631
純資産合計	3,756,150	3,860,513
負債純資産合計	7,670,563	8,564,061

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,592,433	7,383,567
売上原価	7,372,811	6,214,070
売上総利益	1,219,622	1,169,496
販売費及び一般管理費	1,314,417	1,266,012
営業損失(△)	△94,795	△96,515
営業外収益		
受取利息	3,046	816
受取配当金	9,598	9,685
受取賃貸料	15,907	7,128
持分法による投資利益	12,355	9,466
負ののれん償却額	5,508	5,508
その他	7,158	5,874
営業外収益合計	53,574	38,478
営業外費用		
支払利息	6,971	3,566
賃貸収入原価	11,339	5,091
その他	3,711	5,444
営業外費用合計	22,022	14,102
経常損失(△)	△63,243	△72,139
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,567	1,700
その他	—	65
特別利益合計	3,567	1,765
特別損失		
固定資産廃棄損	1,106	2,505
減損損失	4,200	—
その他	300	—
特別損失合計	5,606	2,505
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,282	△72,880
法人税等	118,112	△34,562
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△58,837	2,492
四半期純損失(△)	△124,557	△40,810

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,282	△72,880
減価償却費	59,348	45,179
減損損失	4,200	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	69,523	75,105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,567	△1,700
受取利息及び受取配当金	△12,645	△10,501
支払利息	6,971	3,566
持分法による投資損益(△は益)	△12,355	△9,466
固定資産除売却損益(△は益)	1,106	2,505
売上債権の増減額(△は増加)	610,486	586,440
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,773	△180,537
仕入債務の増減額(△は減少)	△138,714	△129,505
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,527	△11,226
その他の資産の増減額(△は増加)	△6,153	△71,836
その他の負債の増減額(△は減少)	△104,704	△256,945
その他	741	20
小計	409,200	△31,781
利息及び配当金の受取額	12,645	10,501
利息の支払額	△6,971	△3,566
法人税等の支払額	△258,511	△18,720
法人税等の還付額	12,567	34,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,931	△9,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,253	△1,199
有価証券の売却による収入	—	200
固定資産の取得による支出	△58,181	△30,605
長期貸付金の回収による収入	600	600
事業譲渡による収入	2,399	—
その他	△3,215	20,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,650	△10,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190,000	△300,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△240,900	△148,700
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△1,002	△93
配当金の支払額	△120,152	△60,319
少数株主への配当金の支払額	△2,160	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△384,214	△539,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	741	△348
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△274,193	△559,095
現金及び現金同等物の期首残高	2,575,798	1,979,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,301,604	1,420,248

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社グループは、単一セグメントに属する情報サービス事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、単一セグメントに属する情報サービス事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社及び連結子会社の海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社及び連結子会社の海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(連結子会社の吸収合併について)

当社は、平成21年3月31日及び平成21年5月15日開催の取締役会決議並びに平成21年6月24日開催の定時株主総会決議に基づき、平成21年10月1日を合併期日として当社の100%子会社である株式会社アイエックスときわテクノロジーを吸収合併いたしました。

①. 合併の目的

グループ経営資源の集中と効率化により、収益力強化等を図る目的であります。

②. 合併の要旨

イ. 合併期日

平成21年10月1日

ロ. 合併の方法

当社を存続会社とし、株式会社アイエックスときわテクノロジーは消滅会社となります。

ハ. 合併による新株の割当等

当社が株式会社アイエックスときわテクノロジーの全株式を保有しているため、新株の発行及び金銭の交付は行いません。

ニ. 増加すべき資本金等

当社が株式会社アイエックスときわテクノロジーの全株式を保有しているため、資本金等の増加は行いません。

ホ. 合併による引継資産

資産合計 579,726千円

負債合計 1,091,816千円

ヘ. 実施した会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会 平成15年10月31日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 最終改正 平成19年11月15日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。